



前名張市議会議員

三原じゅん子は怒っています

自校方式の心の通う 手作りの学校給食を

全国で約90%の
実施率の中学校給食
三重県でないのは
名張市だけです

名張市、財政非常事態宣言を解除しても中学校給食は実施せず。
2022年には中学校給食を実施すると表明していたのに！
子どもや保護者との約束を守って！

三原じゅん子は、毎議会、育ち盛りの中学生の心と体を健全に育てる、安全で美味しい自校方式の中学校給食での実施を、財源も含め具体的提案をしてきました。

教育委員会は、自校方式はお金がかかるからとセンター方式にする方針を出していますが、調理場の建設費は同規模です。食教育と地元農産業に寄与する給食より、一元管理という合理化を優先しています。

なんでも賛成の
多数派の議員は
名張市の姿勢を
追認してばかり

センター方式では、小学校の自校方式も集約される
伊賀市はセンター方式にして、自校方式の小学校給食を止めました。

美味しい名張の給食は、これまで地域や保護者のみなさんと作ってきた大切なものです。守り、育てるのが議員の仕事です。

自校方式

- 建設費は約11億円。1校あたり約2億円で5中学校。
- 各学校に調理場があり、喫食時間に合わせた調理ができる。子どもたちの傍で調理が行われることから、学校給食における食育が有効。
- 現在、名張市の小学校では、自校方式で地元の農産物を出産だけ使い、出汁から手作りの美味しい給食が提供されています。
- 避難所となる学校に調理場があることは災害時の備えにもなります。

センター方式

- 建設費は約11億円。土地代が別に必要。
- 一か所で調理し、トラックで各学校に配送。運営・管理を一元的に行えるが、大量に作るため加工品の利用が増える。

コロナ禍での国民健康保険税の値上はひどい!! 鈴鹿市のように引き下げを!!

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、くらしと経済に大きな影響があり、市民が疲弊する中で、固定資産税の増税延長、国民健康保険税の増税、介護保険料を値上。

2020年度に国民健康保険税、一人当たり15,756円(17.1%)の大幅な引上げで、三重県下最大の値上。
2021年には、鈴鹿市などは引下げを行っており、県下で木曾岬町に次いで、2番目に高い保険税となった。

名張市国民健康保険特別会計は黒字で、2013年には10億円の基金を貯めた。三原じゅん子は、「国保基金が10億円も貯まっているのは国保税の取りすぎだ」と国保税の引下げを求めたが、名張市は基金から毎年1億円余を一般会計にまわして使い果たしてしまっ

三原じゅん子は
ただ一人反対し
引き下げを求める

国保加入者は年金生活者・無職者・非正規労働者。会社を退職すれば誰もが対象となる。三原じゅん子は「国保基金を一般会計にまわし、無くなったので値上など許せない」と反対。引き下げを求める。

日本共産党

2議席で

- ① チェック力倍加!
- ② 議員提案権を行使し、「切実な願い」の実現力が増強!
- ③ 一致点での共闘力もアップ!!

